

デザインと環境で世界をリードする

高橋カーテンウォール工業株式会社

2023年12月期
決算説明会資料

代表取締役社長： 高橋 武治

2024年2月9日

目次

1. 事業内容
2. 2023年度 連結決算概要
3. 2023年度 説明詳細
4. 各事業の今後
5. 2024年度 連結通期予測
6. 配当の基本方針と推移

1. 事業内容

事業内容 基本情報

会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社

創業 1951年（昭和26年）

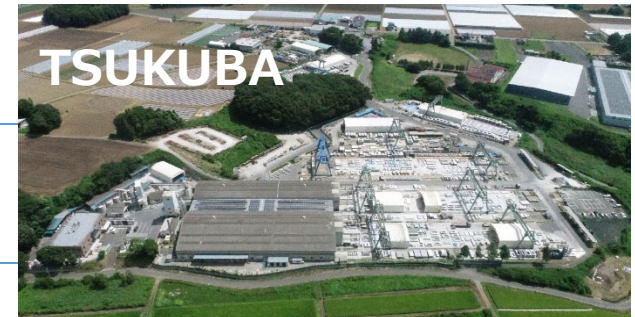
従業員数 189名（男性142名・女性47名）2022年12月現在

経営陣
代表取締役社長執行役員 高橋 武治
取締役上席常務執行役員 高橋 宗敏
社外取締役 小出 斉
常勤監査役 中西 博之
監査役（社外） 中川 康生
監査役（社外） 吉見 芳彦

事業内容
プレキャストコンクリートカーテンウォールの設計・製造・施工
建築用プレキャストコンクリート部材【N認定】の設計・製造・施工
水施設・水空間・水環境の企画・提案・設計・施工

事業所 本社：東京都中央区日本橋 大阪支店：大阪市北区中之島

生産拠点



茨城県結城郡八千代町



茨城県筑西市西山田



滋賀県甲賀市信楽町

事業内容

私たちのミッション・ビジョン・バリュー

経営理念

【全従業員の物心両面の幸福を追求し、社会の進歩発展に貢献する】

MISSION

都市を革新する

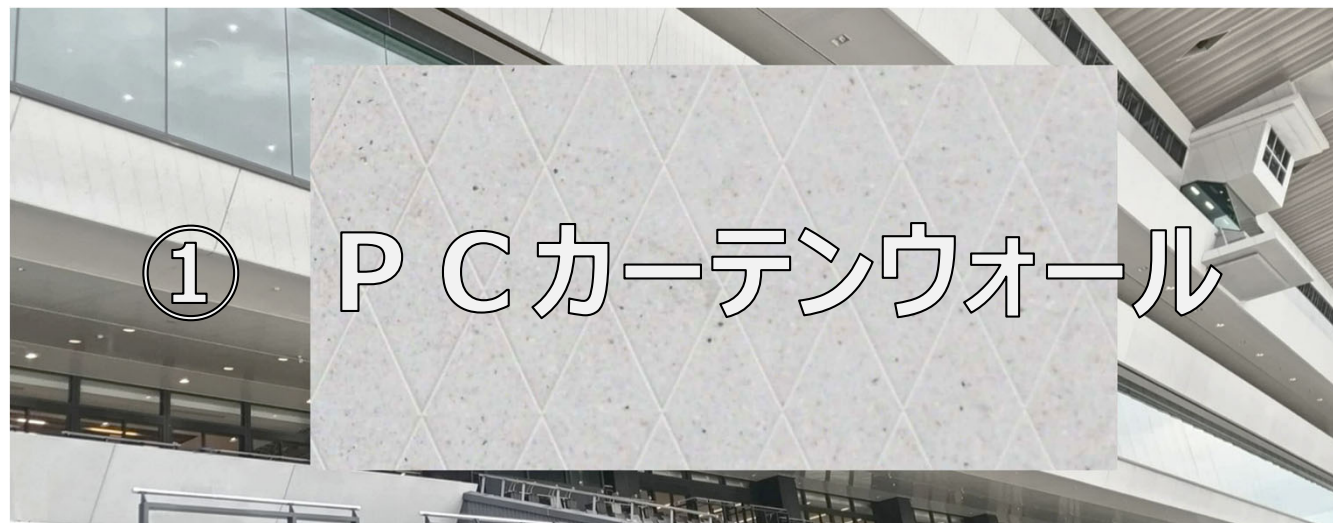
VISION

デザインと環境で
世界をリードする

VALUE

挑戦 ・ 一丸 ・ 誠実

2つの事業セグメント

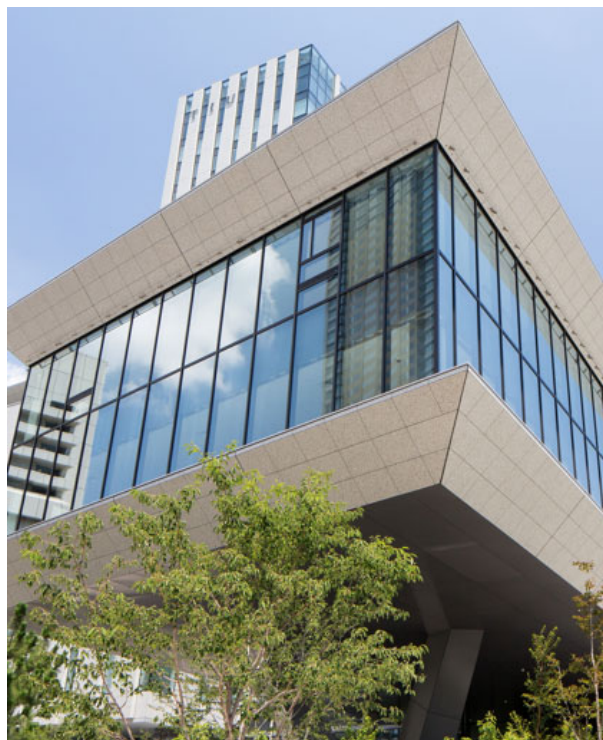


① PCカーテンウォール



① PCカーテンウォール

個性的なコンクリート製の外壁を提供することによって現場の省力化を助け、自在な形状や様々な表情で街を彩ります

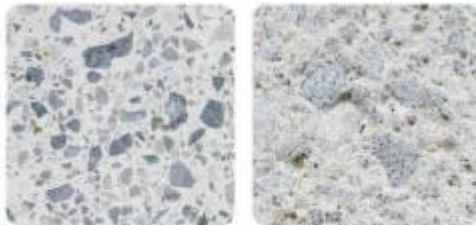


① PCカーテンウォール

特徴的な製品～アーキテクチュラルコンクリート～

自然石の風合いをコンクリートで表現したP Cカーテンウォール

表面加工例



研ぎ出し



サンドブラスト

研ぎ出し

コンクリート表面を平滑に研磨し、骨材などを露出させる手法。

サンドブラスト

砂を高速度でコンクリート表面に吹付ける仕上げ。

その他のラインナップ



ビシャン風



チェーン引き



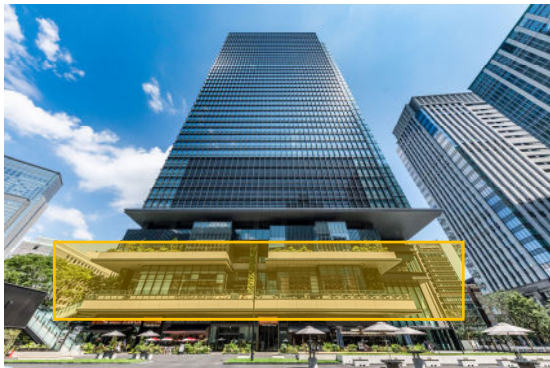
エイジング



洗い出し

① PCカーテンウォール

アーキテクチュラルコンクリートの施工事例



TOKYO TORCH 常盤橋タワー
(研ぎ出し仕上げ)



都内カーディーラー
(アーキコン+化粧型枠)

② アクア施設



② アクア施設

プールや水盤を中心とした水施設のコンセプトや計画を
提案設計から施工・監理までをトータルに実施

ホテルプール



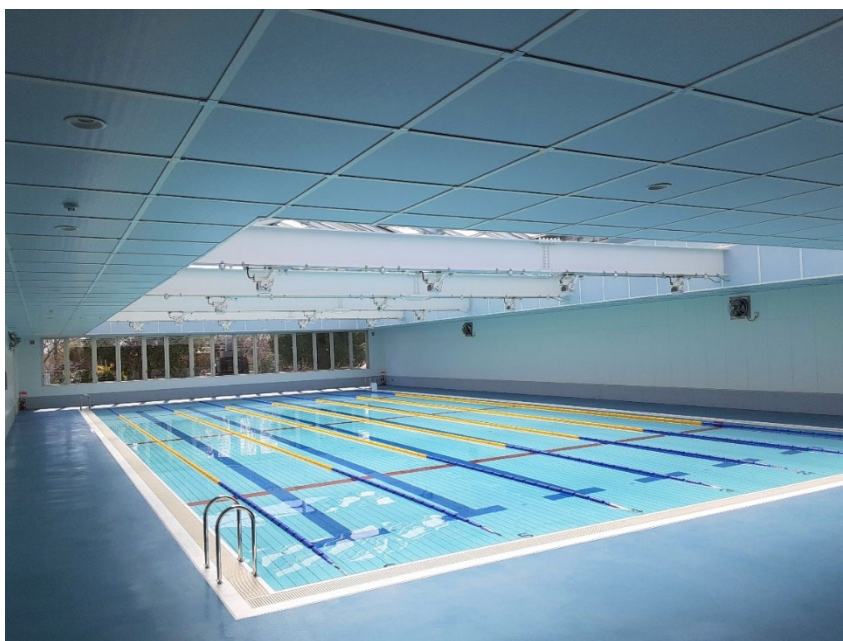
競技用公認プール



② アクア施設

可動床プールの紹介

ボタンひとつでプールの床面を昇降させ利用目的に適した水深に変えることが可能。可動床面を分割したり、水深 0 m まで上昇させ床面に人工芝を敷くことにより、多目的な陸上スペースとして使用することも可能。



筑西市立関城中学校

利用する学年によって深さを変えられる
可動床システムを採用

場所 茨城県筑西市

仕様 2.5 m プール

ステンレス製無塗装 + 可動床

② アクア施設

救助訓練用プール、水盤の施工事例



島根県警機動隊 新庁舎

場所 島根県松江市
仕様 ステンレス製無塗装仕上
水難救助訓練用プール

虎ノ門ヒルズビジネスタワー

場所 東京都港区
仕様 水盤
ステンレス防水工事



2. 2023年度 連結決算概要

2023年度の総括

【単位:百万円】

	2022.12 決算	2023.12 決算	通期 増減額	通期 増減率
売上高	7,530	7,332	- 198	- 2.6%
営業利益	170	355	+ 185	+ 109.1%
営業利益率	2.3%	4.8%	+ 2.6%	
経常利益	248	448	+ 200	+ 80.7%
経常利益率	3.3%	6.1%	+ 2.8%	
当期純利益	151	302	+ 151	+ 99.2%
当期純利益率	2.0%	4.1%	+ 2.1%	

2023年度の売上・営業利益 概況

【売上高】

7,332百万円

前期比較

-2.6% (-198百万円)

【営業利益】

355百万円

前期比較

+109.1% (+185百万円)

【売上高】

ほぼ計画通りであったが、建設業界全体で人手不足の影響による工程遅延があり、生産量（売上高）は低調に推移した。



プラウド白金長者丸
P Cによるファザード部分も評価され、2023グッドデザイン賞を受賞しました。

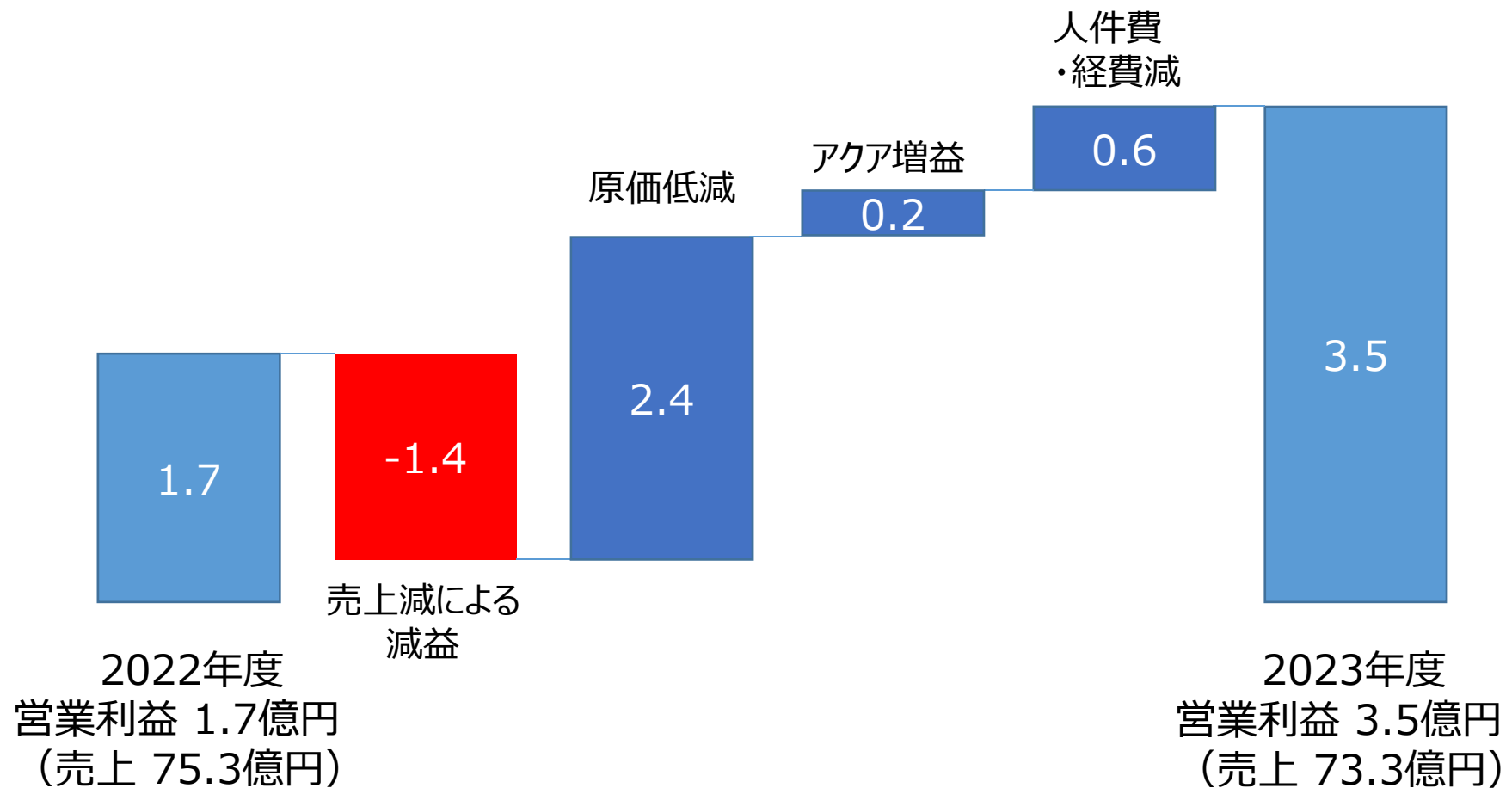
【営業利益】

生産効率化により大幅に改善した。

3. 2023年度 説明詳細

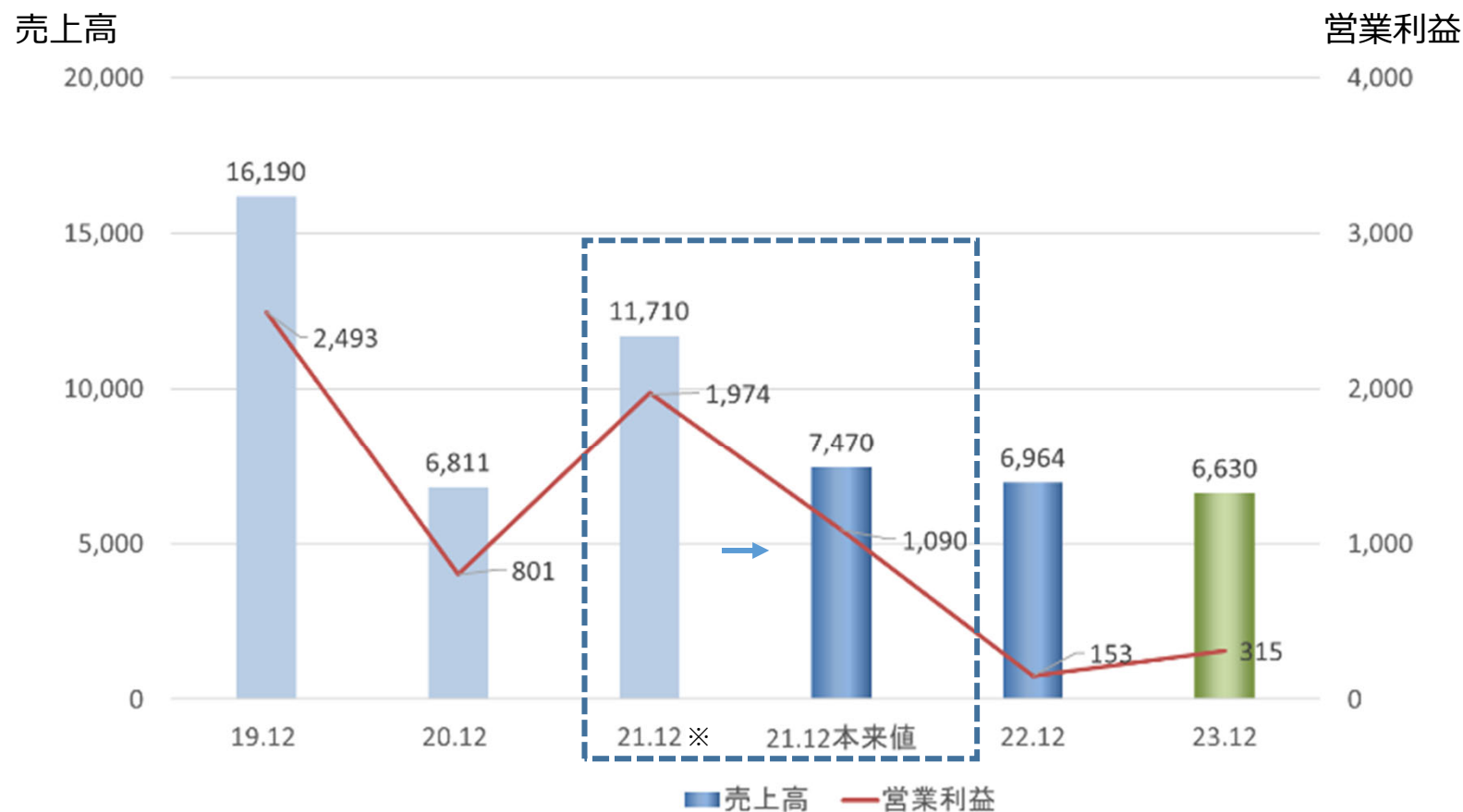
2023年度 利益変動分析

単位：億円



セグメント別売上高・利益推移 【① PCカーテンウォール】

(単位：百万円)

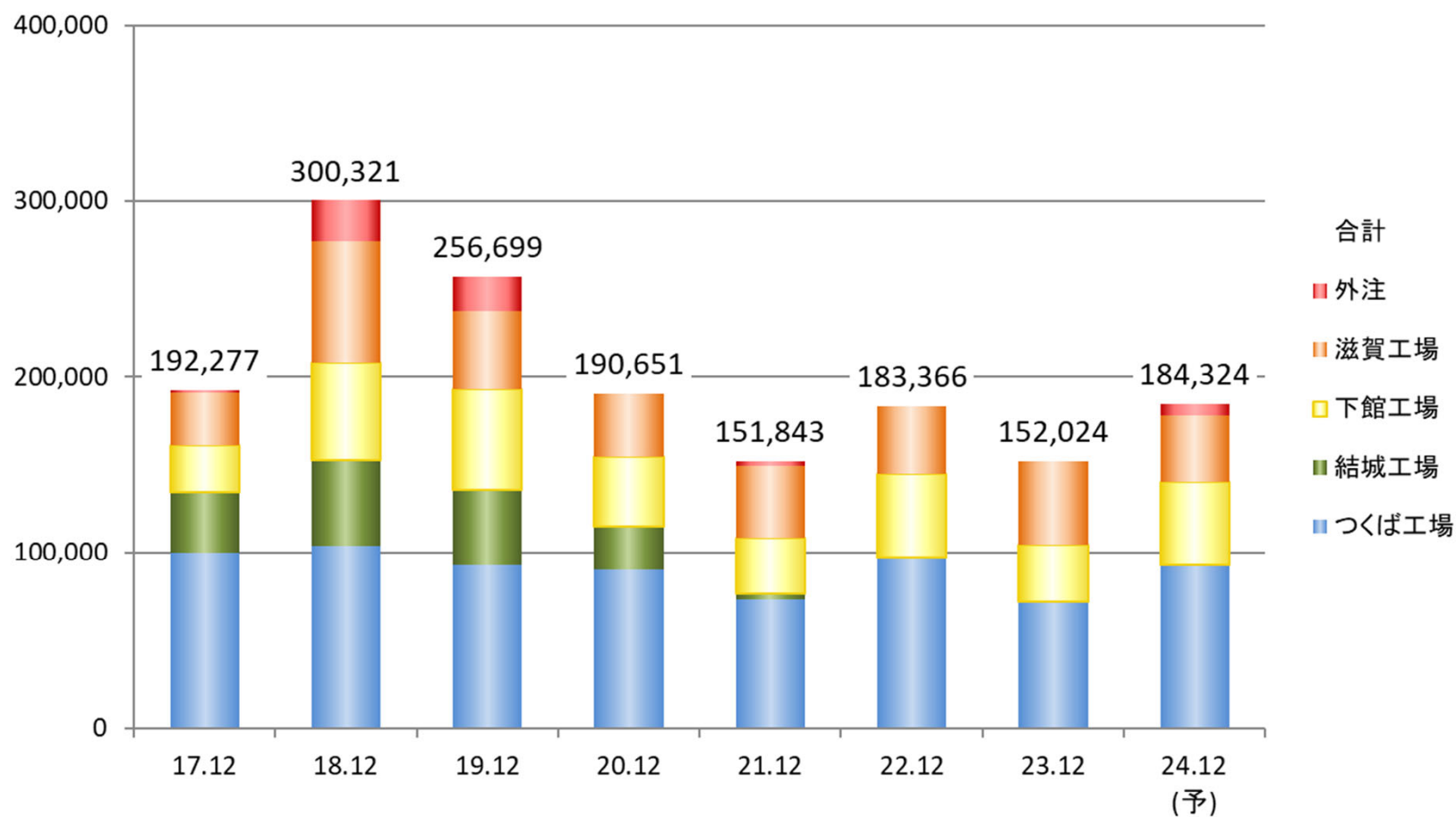


工事完成基準 ← → 工事進行基準

※21年12月期は切り替わりの年のため、財務会計数値には2020年度進行基準で計上されるべき売上・利益が入っています。

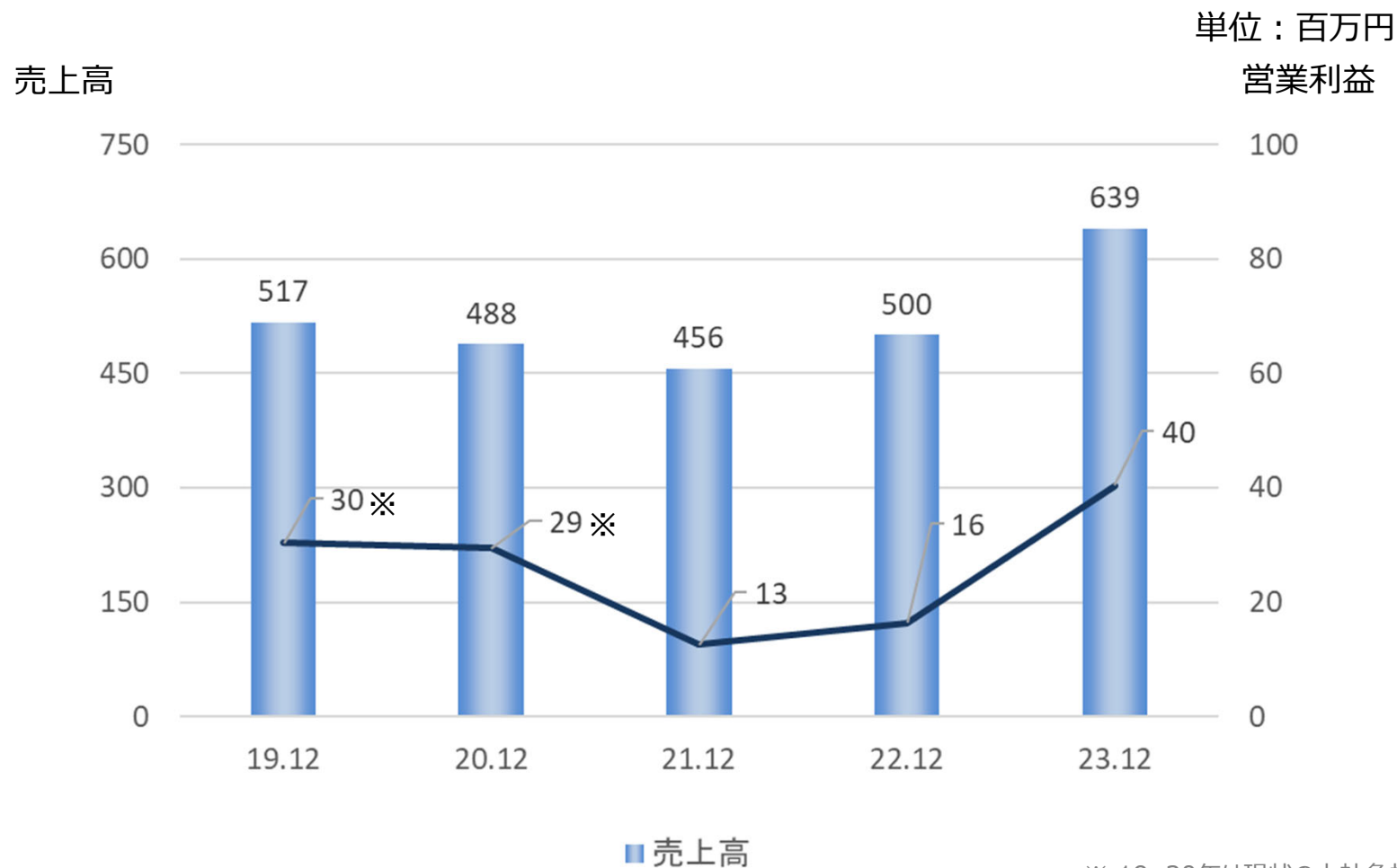
工場別生産量推移【① PCカーテンウォール】

単位：㎡



セグメント別売上高・利益推移

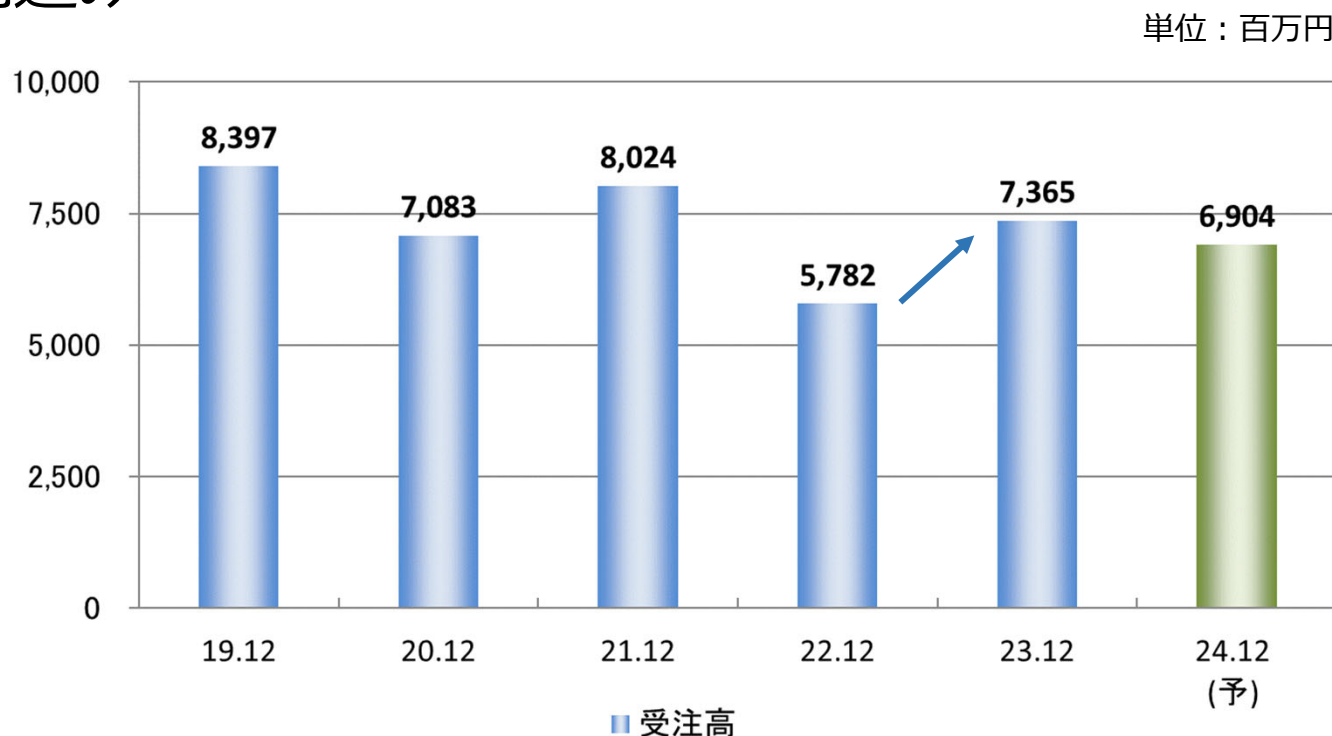
【② アクア施設】



※ 19、20年は現状の本社負担金水準で再計算しております

受注高推移【① PCカーテンウォール】

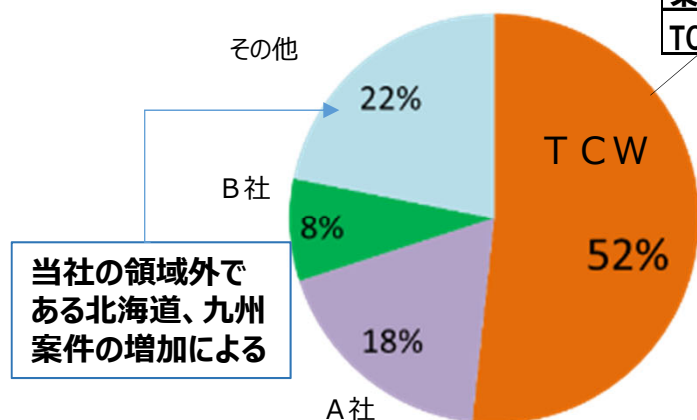
- 2023年度は、九州・関西の需要が予想以上だったため受注高が伸びた
- ゼネコンの受注控えが続いており、2024年は低調に推移する見込み



TCW全国マーケットシェア（2022-2023年度）

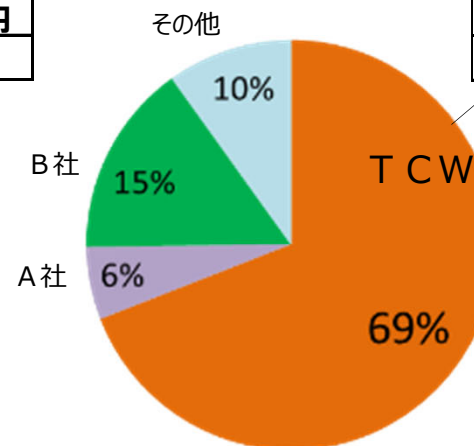
2022年度

業者数	12社
業界総受注高	111億円
TCW受注高	57億円



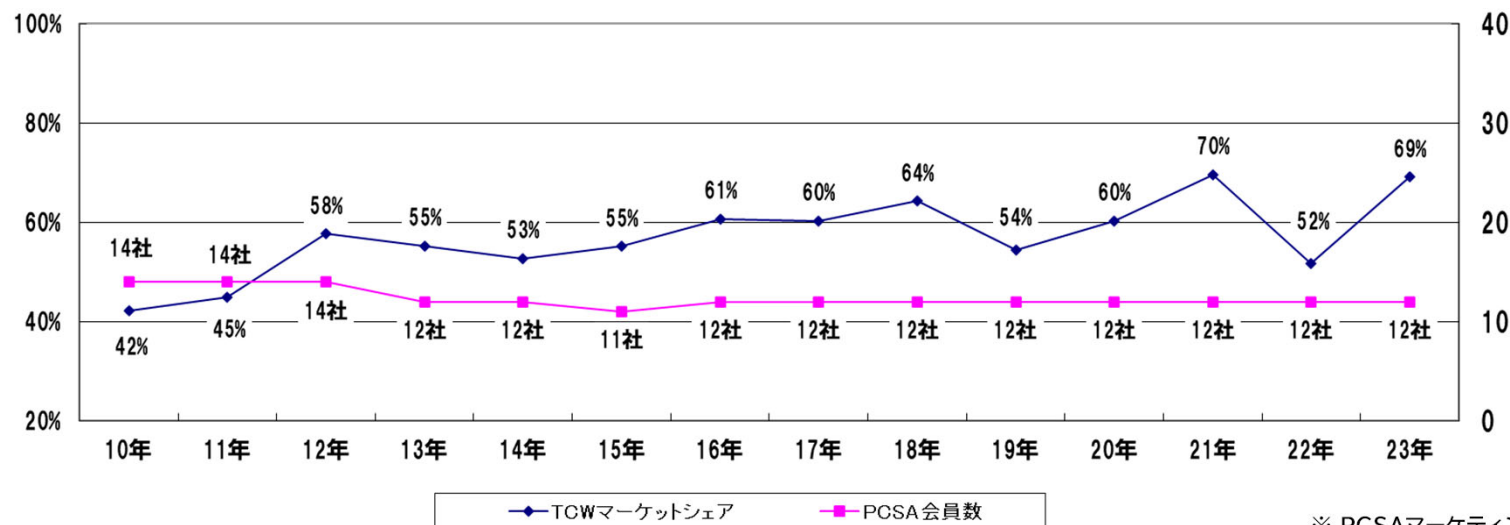
2023年度

業者数	12社
業界総受注高	98億円
TCW受注高	67億円



マーケットシェア

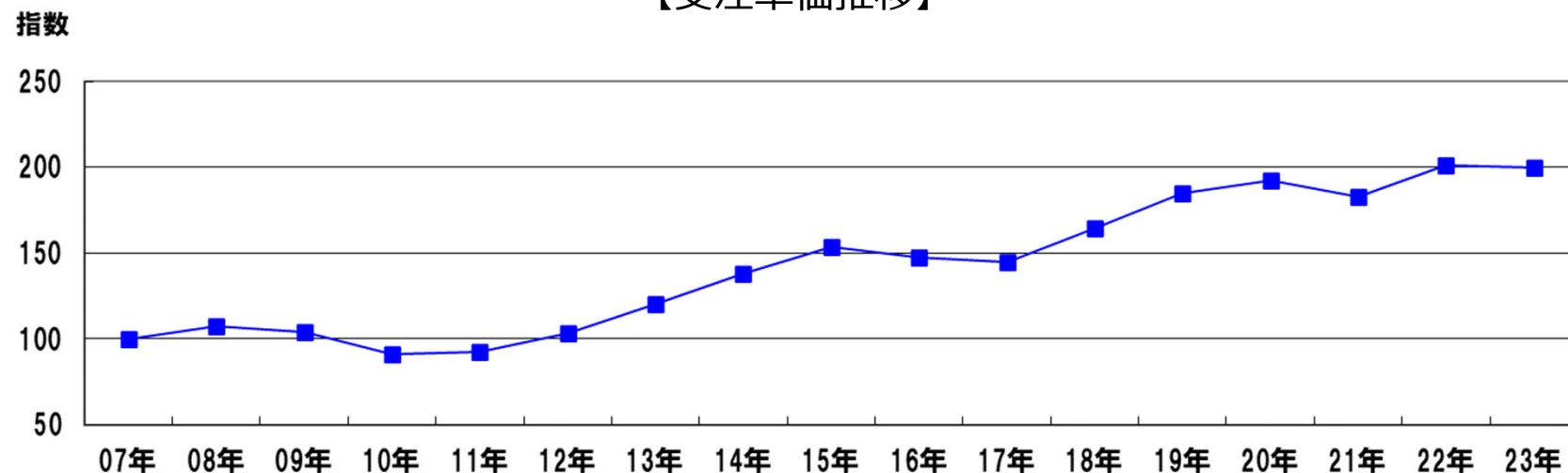
PCSA会員数



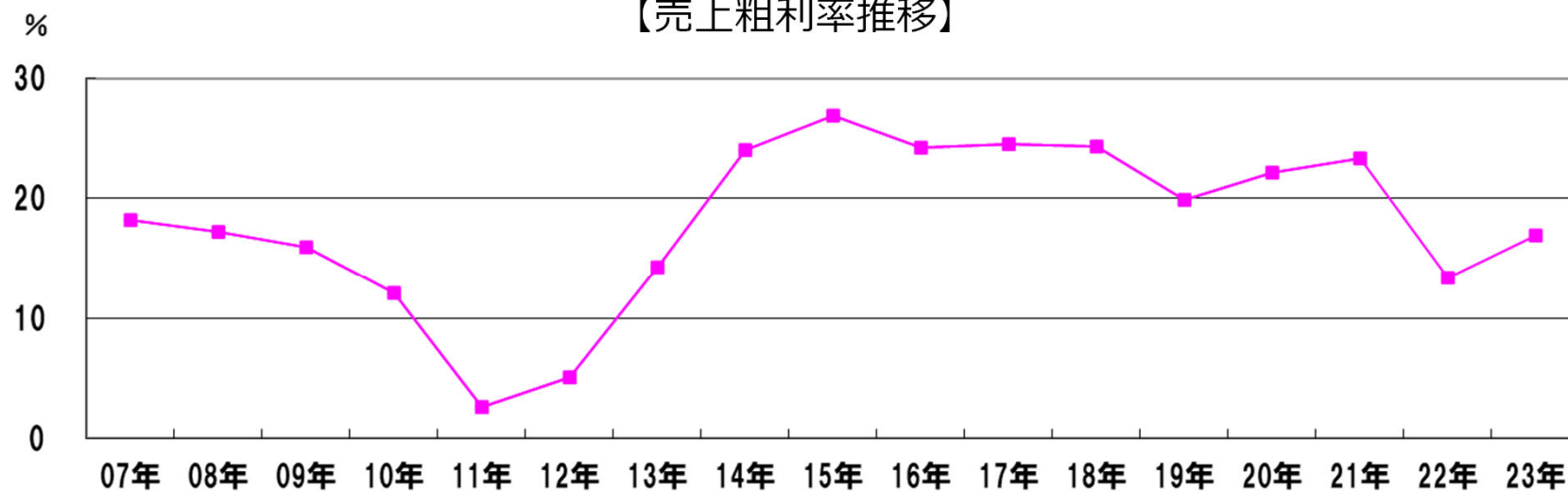
※ PCSAマーケティング部会集計値

TCW受注単価・売上粗利率推移

【受注単価推移】

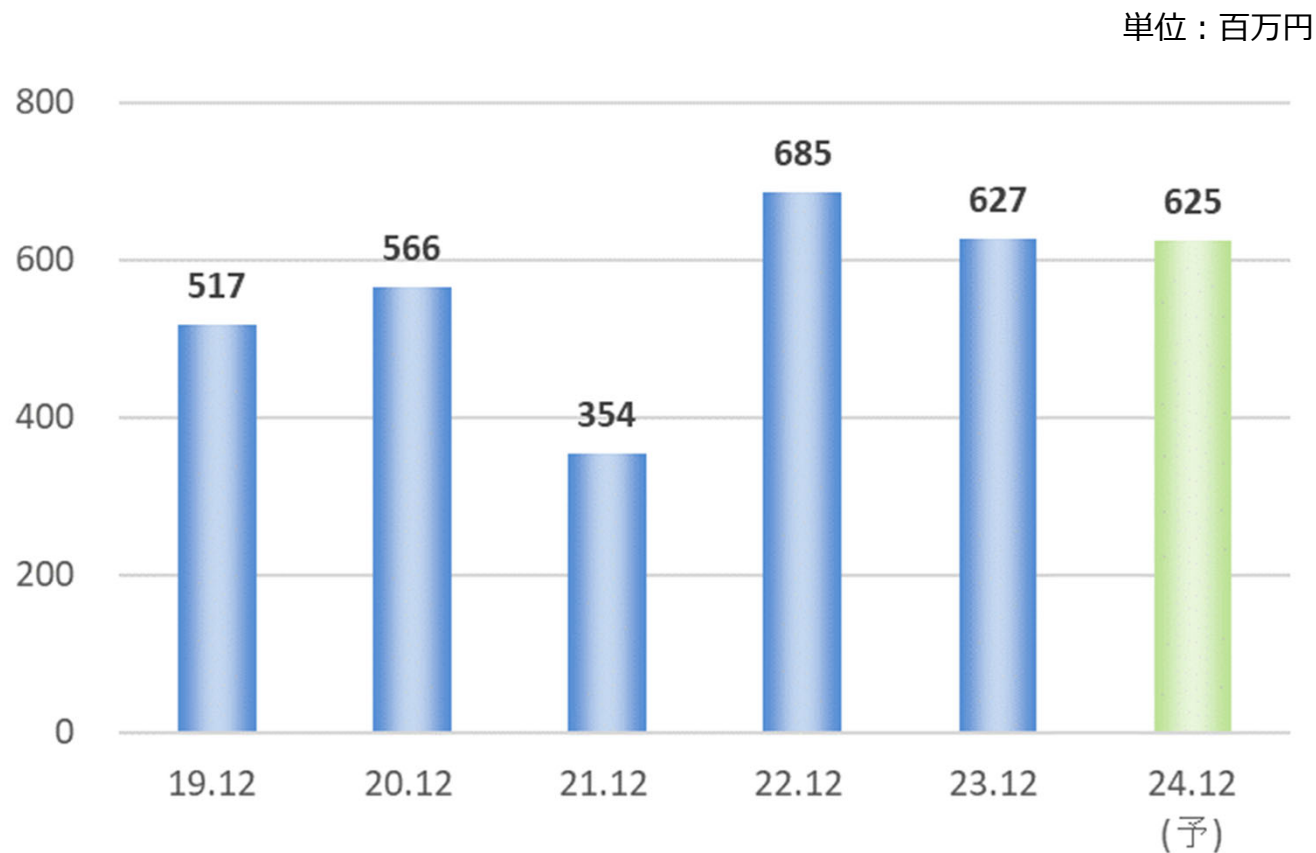


【売上粗利率推移】



受注高推移【② アクア施設】

- インバウンド需要の回復でホテルプールが堅調



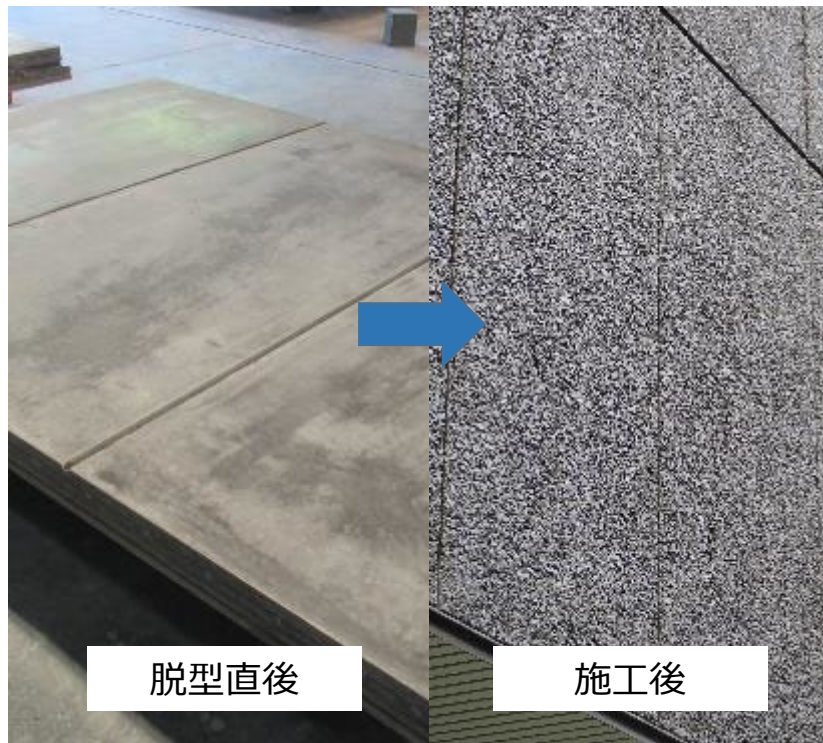
4. 各事業の今後

より高いデザイン性、
環境性が求められている

業界のトレンド 【① PCカーテンウォール】

デザイン（多彩な仕上げ・形状）

当社製品のアーキテクチュラルコンクリートを利用し、
デザイン力があるパートナーと共同で新しい表現の外壁を製作



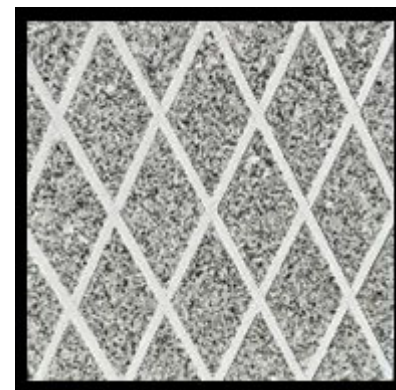
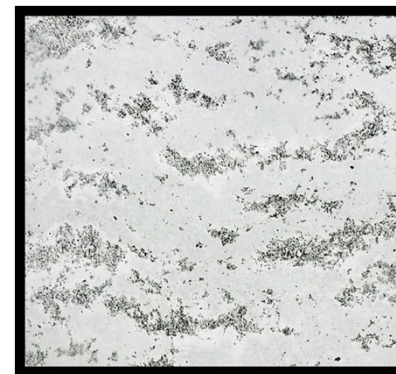
ウォータージェット仕上げ



化粧型枠＋木目調特殊塗装

業界のトレンド 【① PCカーテンウォール】

デザイン（多彩な仕上げ・形状）



展示場（下館工場）

業界のトレンド 【① PCカーテンウォール】

環境に配慮したPC版

○ 炭素固定性を有する海洋生物殻廃棄物を用いたP C部材の開発

ホタテ貝は、海水中の CO_2 を吸収しながら成長しており、毎年大量に貝殻が廃棄されています。この貝殻を細かく砕き、コンクリートの材料である砂の代わりにすることで、 CO_2 が固着されるコンクリート部材となります。



北海道で年間約12万トン廃棄されるホタテ貝殻

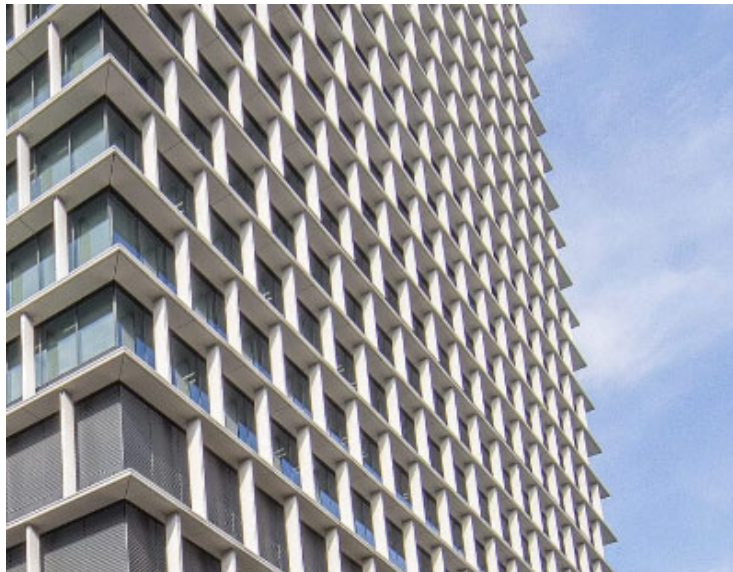


多様な貝を利用することで
外壁を光らせることも可能

業界のトレンド 【① PCカーテンウォール】

環境に配慮したPC版

庇形式のPC版は、眺望性を維持しつつ、日射を調整することができます。太陽の高い夏は日を遮り、冬はその逆に日を取り込むことができ、ビル省力化の助けになります。



KANDA SQUARE



大阪某物件 ダブル形状

業界のトレンド

【② アクア施設】

- ・ 競合企業施工済物件のメンテナンス、リニューアル工事を担う
- ・ FRP素材のプールメーカー撤退により、ステンレスプールへの切り替えが増える見込み
- ・ 新たにスケートリンクの施工にも参入

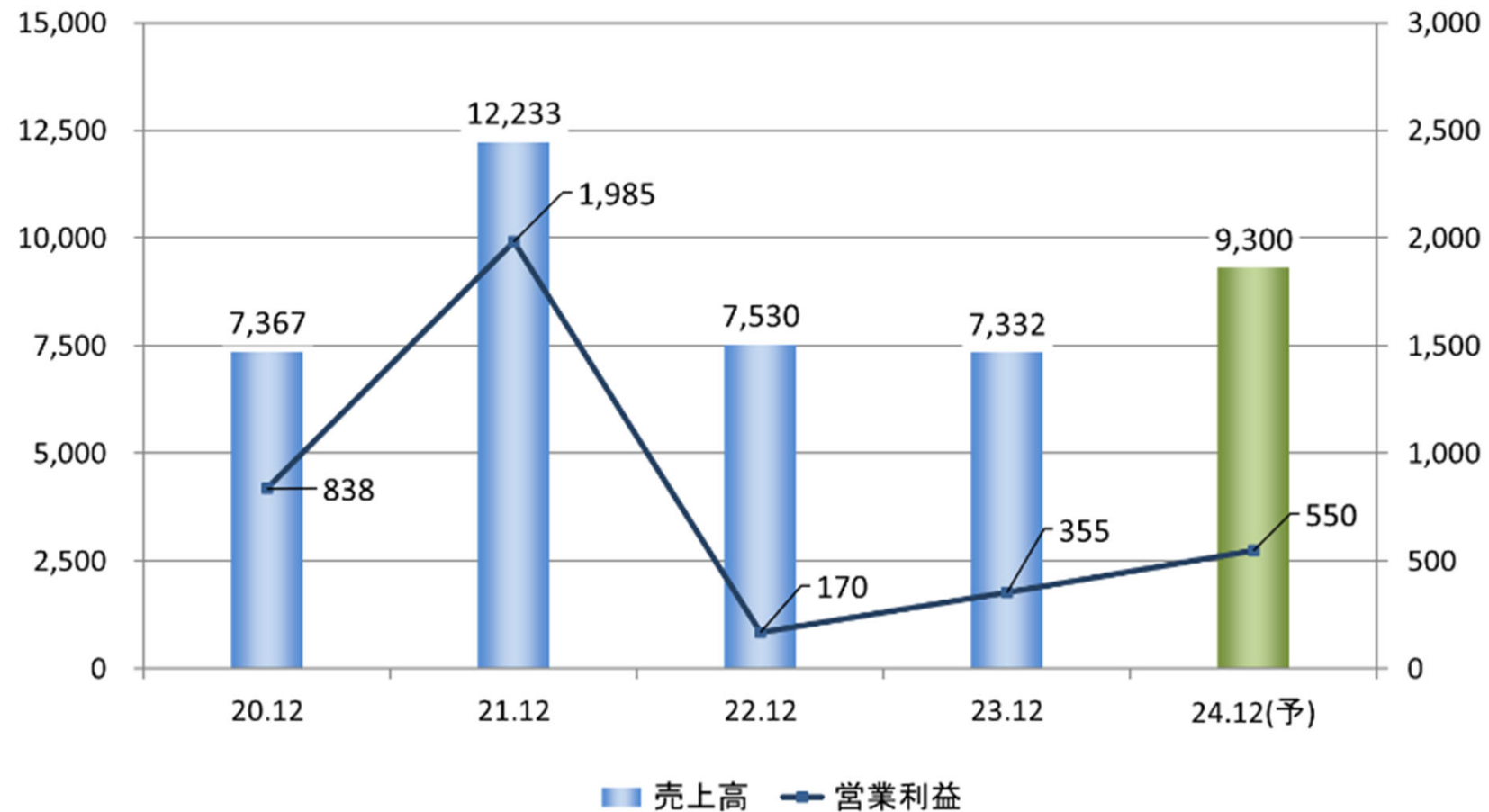
5. 2024年度 連結通期予測

2024年度 連結通期予測

単位：百万円

売上高

営業利益

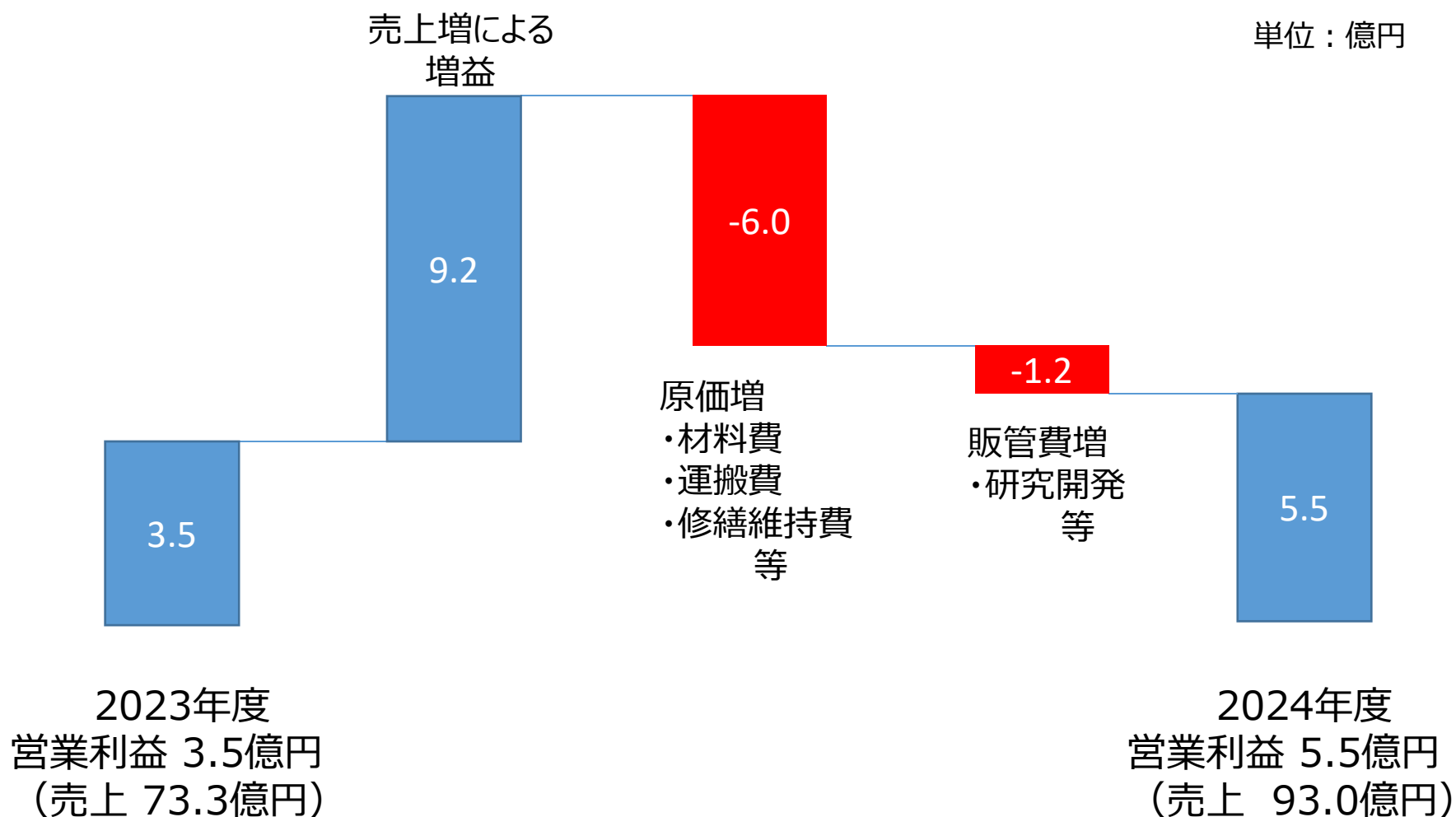


2024年度 連結通期予測

【単位: 百万円】

	2023.12 決算	2024.12 通期予測	上期	下期	通期 増減額	通期 増減率
売上高	7,332	9,300	4,500	4,800	+ 1,968	+ 26.8%
営業利益	355	550	230	320	+ 195	+ 54.6%
営業利益率	4.8%	5.9%	5.1%	6.7%	+ 1.1%	
経常利益	448	610	260	350	+ 162	+ 35.9%
経常利益率	6.1%	6.6%	5.8%	7.3%	+ 0.5%	
当期純利益	302	400	170	230	+ 98	+ 32.5%
当期純利益率	4.1%	4.3%	3.8%	4.8%	+ 0.2%	

2024年度 連結通期予測【利益変動分析】



2024年度 ハイライト

【ポジティブな側面】

- 工場稼働率は回復の予定
→売上高・利益額とも上昇の見込み
- デザイン・環境のニーズにこたえるため、新プラントを活かして研究開発を確実に進めている。
- アクア施設部は将来の成長に向けて人員増強中。
新ジャンルを売上に取り込むために布石を着実に準備中

2024年度 ハイライト

【当社の直面するチャレンジ】

- 顧客の要求金額がよりシビアに
→こうした環境下で適切な価格で受注する
- 運送費をはじめコストアップが予想される。
それをいかに効率化でコスト増を抑え込むか
- 人手不足の環境下、人員確保のために積極採用が必要

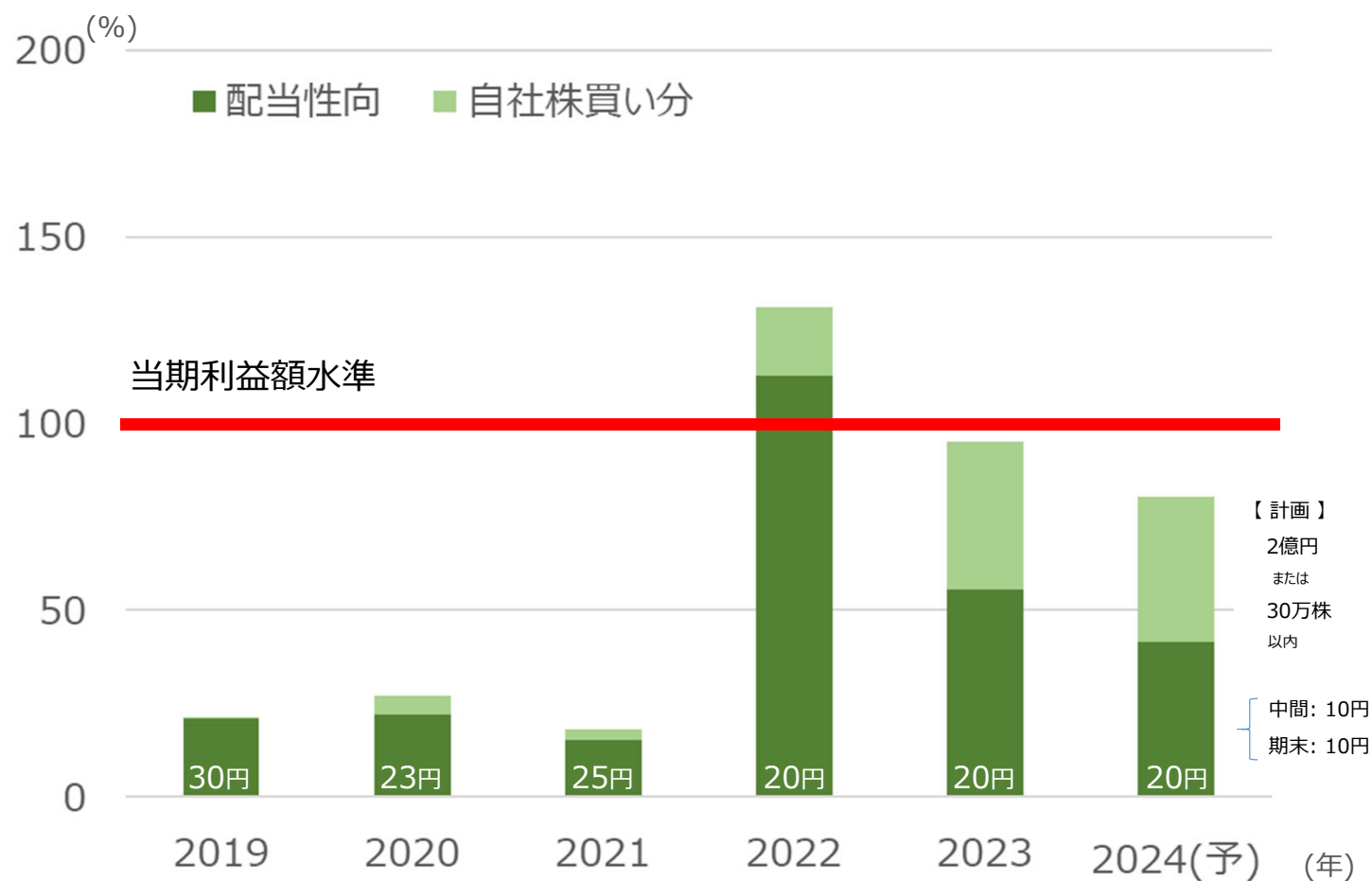
6. 配当の基本方針と推移

配当の基本方針と総還元性向の推移

配当方針

年間20円/株以上の継続 (中間10円+期末10円)

総還元性向
の推移



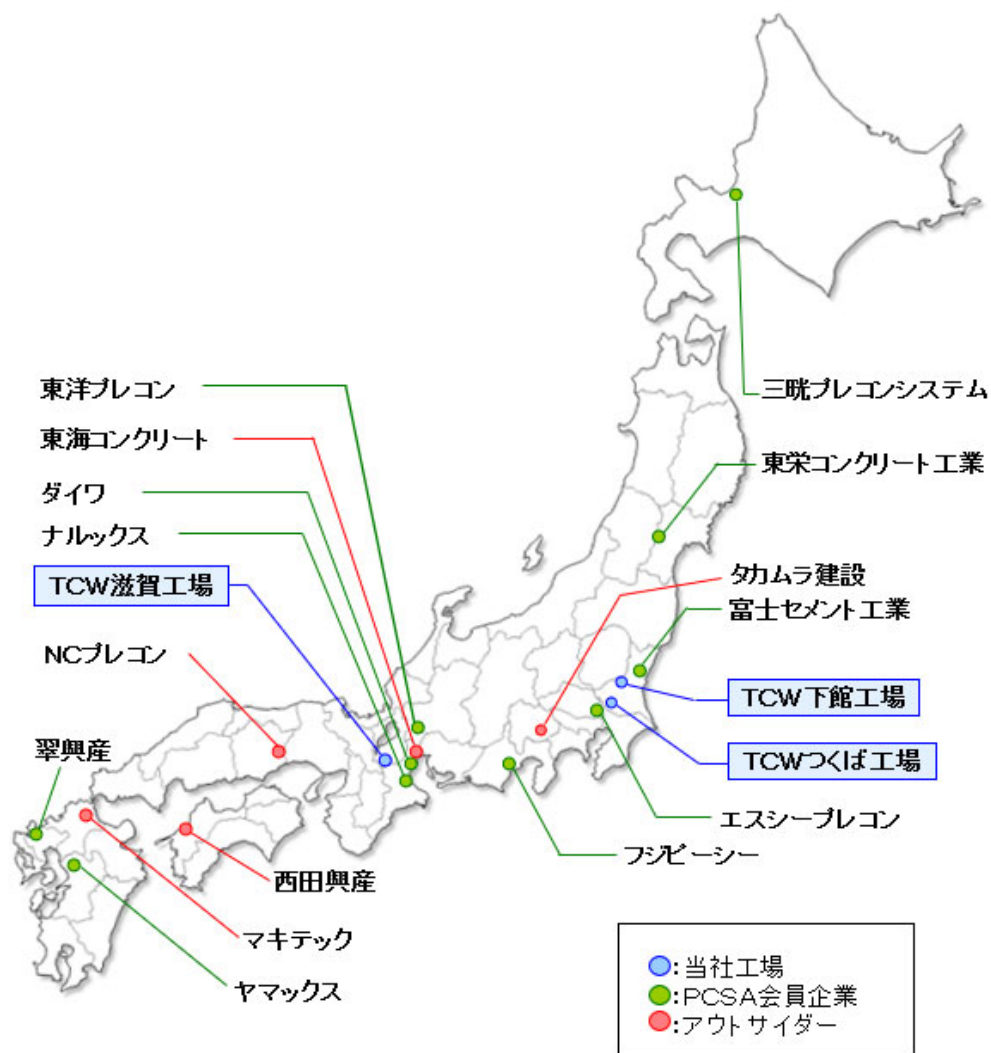
TCW

【見通しに関する注意事項】

本資料に掲載されている中で、下期の予測あるいは今後の見通し等が含まれていますが、実際の結果は様々な要因により記述内容と大きく異なる可能性があります。

<参考資料>

PC生産拠点の分布（カーテンウォール事業）



カーテンウォールは
1枚あたり数tと重いため、
一般的に物件近くの工場に
発注される。

【関東と関西の比較（2023年度）】

	関東メーカー	関西メーカー
市場規模(受注額)	73 億	24 億
主要競合社数	2 社	8 社